

10月市長定例記者発表要旨

と き 平成28年10月4日（火） 11時～12時

ところ 庁議室

1. 台風16号による被害状況について

9月19日から20日にかけて九州南部に上陸した台風16号の影響により、本市においても、蒲江などで降り始めからの雨量が400ミリを越すなどし、多大な被害が発生しました。

被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の台風では、20日の午前1時10分に鶴見、米水津、蒲江地域に避難勧告を発令し、同日午前2時30分には佐伯市全域に避難勧告を発令しました。避難者数は、ピーク時で72世帯146人に上りました。

現時点での被害状況については、人的被害はなかったものの、住家の床上浸水65棟、床下浸水155棟、水道の断水494戸、停電300戸、市道被害101か所、河川被害94か所、急傾斜地被害21か所、林道被害76か所、流木等漂着物による被害が8漁港合わせて630トンなどとなっています。そのほかにも農業用施設、漁港施設、学校施設、農地の被害等も多く見られており、被害総額は、10月4日午前9時現在で約4億300万円となり、現在も引き続き調査中であります。

21日には、佐伯市社会福祉協議会に災害ボランティアセンターの設置を要請しました。また22日及び23日には現地を視察し、市職員、消防署員、消防団等に対し土砂撤去、消毒作業等を要請するなど、早期復旧に努めているところであります。

また26日からは、「り災証明書」の交付申請及び「佐伯市災害被災者住宅再建支援金」の支給申請の受付を開始し、被災された方々が早期に安定した生活を再建できるよう支援を行っております。

2. 平成27年度佐伯市普通会計決算見込みについて

平成27年度の佐伯市普通会計における決算見込みについて、その概要を御説明いたします。

(1) 歳入歳出総額及び収支の状況

(ア) 歳入の状況 451億6,727万円（前年度比2.2%増）・・・資料P.1及びP.6

〔主な増減内容〕

① 地方債

消防防災施設等整備事業等の終了などにより、6億6,950万円の減（-12.3%）

② 国庫支出金

道路新設改良交付金事業（市道沖松浦線）、地域住民生活等緊急支援交付金の増などにより、8億2,139万円の増（+15.6%）

③ 地方消費税交付金

前年度比 5億 7,299 万 3,000 円の増 (+66.0%)

④ 寄附金

ふるさと寄附金の増額などにより、2億 7,562 万 5,000 円の増 (+3,738.3%)

⑤ 地方税

法人市民税・固定資産税の減少により、全体として 1,397 万 9,000 円の減 (-0.2%)

⑥ 地方交付税

普通交付税が合併算定替の縮減期間に入ったことにより、交付税全体として 1億 6,962 万 2,000 円の減 (-0.9%)

(イ) 歳出の状況 444 億 2,148 万 3,000 円 (前年度比+2.2%)・・・資料P. 1及びP. 7～8

[主な増減内容]

①義務的経費 (9億 4,319 万 7,000 円の減 -4.0%)

・人件費が微減、扶助費は横ばい、公債費が 10.9%減少

② 投資的経費 (4,759 万 8,000 円の減 -0.7%)

・蒲江統合小学校施設整備事業等により増額となった一方、常備消防施設整備事業等の減額により、全体として微減

③補助費等 (4億 3,483 万 8,000 円の増 +23.7%)

・プレミアム付き商品券発行支援事業、ふるさと寄附金事業等による増加

④積立金 (12 億 4,432 万 1,000 円の増 +341.2%)

・財政調整基金及び減債基金の積立金の増額

(ウ) 収支の状況・・・資料P. 2

実 質 収 支 : 6 億 1,557 万円
実質単年度収支 : 10 億 7,172 万 4,000 円 } いずれも黒字

(2) 基金残高・・・資料P. 3

積立基金の合計残高は 247 億 9,334 万円 (前年度比 約 16 億 760 万 5,000 円の増)

※16 億 906 万 3,000 円を積み立て、佐伯市図書館図書購入基金等を約 146 万円取崩し

(3) 市債残高・・・資料P. 4

- ・平成 27 年度末現在高は 549 億 1,767 万 9,000 円 (前年度比 21 億 5,864 万 8,000 円の減)
- ・うち普通建設事業等に係る市債残高は 354 億 3,526 万 9,000 円 (前年度比 27 億 2,771 万 7,000 円の減)

(4) 財政指標の状況・・・資料P. 5

- (ア) 経常収支比率 93.2% (前年度比-1.1 ポイント)
歳入で地方交付税交付金等が増加、歳出で公債費の減少等による。
- (イ) 実質赤字比率・連結実質赤字比率については、いずれも赤字なし
- (ウ) 実質公債費比率 8.5% (前年度比-1.3 ポイント) } いずれも改善
- (エ) 将来負担比率 なし

以上が平成 27 年度の佐伯市普通会計決算見込みの概要になります。

歳入のうち地方消費税交付金等が増額になったこと、また、歳出のうち公債費の減少が大きかったことにより経常一般財源の増加が抑えられたため、経常収支比率は前年度に比べ 1.1 ポイント好転しましたが、比率が高いことに変わりはありませんので、今後とも経常経費の削減を図っていく必要があります。

また、平成 27 年度から普通交付税が合併算定替の特例加算の縮減期間に入ったことから、交付税の動向を注視しながら、財政運営の健全化に努めていきたいと考えております。

3. 佐伯市役所本庁舎総合防災訓練の実施について

10月19日(水)、本市職員を対象とする「佐伯市役所本庁舎総合防災訓練」を実施します。

まず9時から、庁舎3階の印刷室で火災が発生したとの想定で、初期消火訓練、来庁者の避難誘導訓練及び職員の避難訓練のほか、はしご車を使った負傷者の救出訓練や消防車と水消火器を使った消火訓練を行います。

引き続き10時30分からは、南海トラフを震源とする巨大地震の発生により市内で震度6強を観測し、沿岸部に大津波警報が発令されたとの想定で、揺れに対する訓練や庁舎内から指定避難場所へ避難する訓練を行います。

当日は、私を始め職員約140人が参加するほか、市民役として防災士会から9人が参加する予定です。

今回の訓練は、新庁舎完成後初の本格的な訓練であり、ぜひ実のあるものにしたいと考えております。また、訓練実施時には庁舎及び駐車場の一部が利用できなくなりますが、来庁舎の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。

4. 「2016 西日本B-1 グランプリ in 佐伯」開催に向けた取組状況について

(1) イベントの概要・アクセス等について

この度、「西日本B-1 グランプリ in 佐伯」公式ガイドブックが完成しました。このガイドブックで、イベントの概要を御説明いたします。

各会場の配置図は6、7ページにあります。佐伯文化会館下の「お祭り広場」と市役所駐車場が主たる会場となりますが、併催イベント「秋の味力まつり」の会場となる仲町商店街には、二つのゲスト団体が出展します。

駐車場やシャトルバスについては8、9ページを御覧ください。市街地の渋滞を避けるため、高速道路インターチェンジ付近の駐車場とシャトルバスを御利用いただきたいと思います。また、7ページにはJRの臨時便を記載しています。ぜひ御利用ください。

併催イベントについては20、21ページを御覧ください。なお、期間中、さいき観光ガイドの会の皆さんや佐伯小学校の5年生と佐伯豊南高校の生徒が、「歴史と文学のみち」周辺を無料でガイドします。

(2) チケット販売について

現在、前売りチケットを販売中です。「ご当地グルメ」を購入するには、必ず専用チケットが必要です。事前にお買い求めいただくと便利です。販売窓口は別紙資料のとおりです。

なお、佐伯市外では、JR九州旅行大分支店と別府市観光協会にて取り扱っています。

(3) 今後の主な予定

市内の各小学校で、出展団体の「応援大漁旗」の作成が本格化してきます。取組状況を可能な限りお知らせしますので、取材をよろしくお願いします。

また、先般、広瀬大分県知事に実行委員会の名誉顧問に就任していただいたお礼を兼ねて、10月12日に実行委員会の役員などが知事を訪問する予定です。

これからのPRが最も重要となりますが、B-1グランプリは、基本的に有料広告ができないルールとなっているため、報道機関の皆さんからの情報発信が大きな力となります。御協力をよろしくお願いいたします。

5. 総合運動公園内「宿泊研修施設」建設工事について

各種スポーツ大会、キャンプ、合宿等の誘致を促進するため、佐伯市総合運動公園内に宿泊研修施設を建設しています。

同施設には、1人部屋から大部屋まで合わせて50人が利用できる宿泊室、ストレッチルームを兼ねたミーティングルーム、厨房、食堂、男女浴室、ランドリー室などを備えています。また、トイレは多目的トイレを設置するほか、施設内はバリアフリーとし、障がいのある方の利用にも配慮したものとなっています。

施設の完成は、平成29年3月の予定です。

なお、平成30年3月には、上城地区防災・避難広場に屋内練習場が完成する予定です。両施設とも、平常時はキャンプ・合宿等スポーツ活動の拠点として、災害発生時には避難所としての役割を担うものです。